2013/11/11(月)

**Chapter4**

**論点**

リベラル・ナショナリスト

　・共通語　　　　　　　　　　　　社会的結束

　・単一民族　　　　 強める

♦公教育はナショナル・アイデンティティーを助長。

♦それは、多様な社会と人種の為に、共通語で示された国民的伝統や共有された価値観を強調したナショナル・カリキュラムによって提供。

本章

前半：ナショナル・アイデンティティーの要素と社会的結束に対するそれらの影響。

　①民族言語の同質性

　②国民としての誇り　　　→これらを社会的結束のレベルと結びつける。

結果：ナショナル・アイデンティティーは社会的結束と結びついていない。

後半：市民教育項目が市民態度や寛容に結びつくか。（IEAデータを利用）

結果：市民教育項目が「制度への信頼」「政治参加」対して変動して関連。

⇒すべての市民文化に対し効果的なシティズンシップ教育はできない。

結論

1.国の言語同質性　　　　　　　　　　社会的結束

　　　　　　　　　　　　 ×

2.国家レベルの教育変数　　　　　　　　　 市民態度

　　　　　　　　　　　個人レベルで再生産

　　　　　　　　　　　されるわけではない。

　　→愛国心的価値の変数は他のシティズンシップ教育より市民態度に強い正の相関があるとは個人レベルでは言えない。

3.ナショナル・アイデンティティー

　国民としての誇り　　　　　　　　　捉え方が地域によって異なる。

　愛国心

示唆

☆

国家同一性

国民としての誇り　　　　　　　　　　それぞれのレベル・概念は

学校効果　　　　　　　　　　　　　　国によって異なる！

社会的結束

☆社会問題（市民態度、社会的結束のレベルの低下）を解決するには、

その地域に適した解決法を用いることが必要だと考えられる。

論点に至るまで

①「シティズンシップ教育」

②「愛国心的価値の強調」　　　　どう捉えるか？

　本章の主張

　教育⇔社会的結束

　 ↑**ここに、①・②が果たす役割は何だろうか。**

※社会的結束に対する教育の「効果」等、教育の詳細な部分は本章まで議論されず

⇒そこで本章では…

　□教育の中でもシティズンシップ教育に着目

　□市民的態度（社会的結束に繋がる）に与える効果を見る

　　ＢＹ　４つの市民教育項目（多元主義・国際性・愛国心・選挙）

☆筆者自身は、本章でリベラル・ナショナリストの理論に基づいた①・②は否定しているが、①、②自体を否定している訳ではない。そして、示唆において①・②の効果的な在り方の必要性を述べるに留まる。

筆者：「社会問題（市民態度、社会的結束のレベルの低下）を解決するには、その地域に適した解決法を用いることが必要だと考えられる。」

⇒これらを踏まえたうえで、実際に日本について考えてみよう！！

**論点**

**日本において、社会的結束を高める為にシティズンシップ教育を推進し、そこで愛国心的な価値を強調することは効果的であるだろうか。**

議論する上で注意すること

◇シティズンシップ教育とは

・社会の構成員であるシティズン(citizen：市民)に必要な資質を育成する教育

・グローバル時代における国民国家のゆらぎの中で、「国民教育」再編成の鍵となる概念

・各国の共通項としては「行動的な市民(active citizen)」の育成が挙げられ、

批判的思考力、問題解決能力、民主的参加が目指されている。

Ｂｙ比較教育学辞典

◇愛国心的な価値について

・例えば、日本において愛国心を強調することは、日本人としての誇りに繋がるとも

言われている一方で、復古主義・戦前回帰に繋がると懸念する声もある。